個人投資家さま向け
会社説明会

2025年８月１日

百五銀行
FRONTIER BANKING

（証券コード8368）

本日のスピーカー

百五銀行
FRONTIER BANKING

1991年４月	株式会社百五銀行　入行
2016年12月	同行 菰野支店長
2019年６月	同行 経営企画部長
2021年６月	同行 執行役員経営企画部長
2022年６月	同行 執行役員資金証券部長
2023年６月	同行 取締役常務執行役員
2025年６月	同行 代表取締役専務執行役員（現任）

代表取締役専務執行役員
浦田　康寛

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

会社概要

百五銀行 FRONTIER BANKING

商号	株式会社百五銀行
上場（証券コード）	東証プライム・名証プレミア（8368）
創立	1878年11月19日
代表者	取締役頭取　杉浦　雅和
従業員数	2,207名
総資産	7兆3,938億円
資本金	200億円
発行済株式数	254,119千株
格付け	A（格付投資情報センター）

（2025年３月31日現在）

百五銀行　岩田本店棟

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行は、１８７８年１１月に創立し、今年１１月で創立１４７年を迎えます。
銀行名は、民間の銀行をつくるための法律である国立銀行条例のなかで、１０５番目に認可を受けた「第百五国立銀行」を由来としております。

２０２５年３月末時点での従業員数は２，２０７名、資本金は２００億円、東証プライム市場、名証プレミア市場に上場しております。

歴史･沿革

百五銀行 FRONTIER BANKING

- **1878年　藤堂高泰ら旧藩士が中心となり、第百五国立銀行を設立**
- **2028年11月には創立150周年を迎える**

1878～	1897～	1924～	1968～	2015～	2023～	2028
藤堂高泰ら旧藩士が中心となり、第百五国立銀行を設立	普通銀行への改組	岩田川畔に本店を新築移転	本店を津市伊予町に新築移転	本館ビル岩田本店棟･丸之内本部棟竣工	創立145周年	創立150周年
1882年 **伊勢商人の当行経営参画** **1894年** **第五代頭取川喜田四郎兵衛が就任**	**1901年** **津市大門に本店を新築移転** **1920年** **初の都市部進出となる名古屋支店開設**	**1952年** **福寿定期預金100億円達成** **1964年** **東京支店開設**	**1978年** **創立100周年** **1996年** **企業理念制定**	**2019年** **百五スマホバンキングアプリの取扱開始** **2020** **預金総額５兆円突破**	**2024年** **預金総額６兆円突破** **総貸出金５兆円突破** **2025年４月** **中期経営計画「未来への挑戦」開始**	

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行は、伊勢津藩の城代家老であった藤堂高泰ら旧藩士が中心となり、第百五国立銀行を設立したことが始まりです。

その後、１８８２年の金融危機時に、川喜田家を中心とする「伊勢商人」から出資を受け、危機を乗り越えました。

第６代頭取である川喜田久太夫は、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、陶芸家でもあり、「川喜田 半泥子」との別名があります。
陶芸家としては、「東の魯山人、西の半泥子」と評されています。

当行のイメージは「堅実経営」と言われることが多いのですが、
これは、半泥子がよく使っていた「安全第一　百五銀行」という言葉に由来します。

この「堅実経営」をはじめとした伝統を大切にしつつ、さらなる発展を目指し経営を続けた結果、おかげさまで２０２８年１１月には創立１５０周年を迎える予定です。

企業理念・コーポレートステートメント

百五銀行 FRONTIER BANKING

企業理念　使命は信用　経営は公明正大　行動は良識で

百五銀行の使命 「信用を大切にする社会をささえます。」

百五銀行は、信用が社会の基本だと考えます。
健全な金融活動を通じて、活力と潤いに満ち、互いに信頼し合える社会づくりにつとめます。

百五銀行の経営 「公明正大で責任ある経営をします。」

百五銀行は、倫理を重んじ、自主独立の精神で公明正大な経営を行います。
堅実で力強い発展をめざし、責任ある経営で社会の信頼に応えます。

私たちの行動 「良識ある社会人として誠実に行動します。」

私たちは、良き社会人として、知見を深め、良心にしたがって行動します。
感謝の心で誠意をつくし、明るく元気に、新しいことに挑戦します。

コーポレートステートメント 「FRONTIER　BANKING」

私たちは、日本で最も進んだ顧客サービスの実践をめざします。
最先端のサービスと商品を提供します。
お客さまの期待を超えるご満足を提供します。

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行の企業理念は、第１２代頭取 川喜田貞久の代に制定されました。

当行グループは、これからも「信用を大切にする社会をささえる」ことを通じて、豊かで活力ある社会づくりに貢献したいと考えております。

また、コーポレートステートメントとして「FRONTIER　BANKING（フロンティアバンキング）」を掲げています。

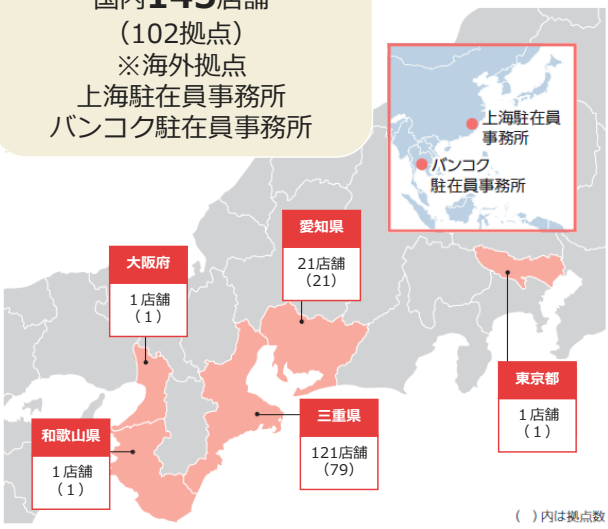
これは、堅実経営で守りに徹するだけでなく、日本で最も進んだ顧客サービスの実践を目指すとともに、最先端のサービスと商品、そして期待を超える満足を提供します、という意思表明です。

営業基盤と強み

百五銀行 FRONTIER BANKING

店舗数
国内**145**店舗
（102拠点）
※海外拠点
上海駐在員事務所
バンコク駐在員事務所

2025年７月末現在



（ ）内は拠点数

愛知県

製造品出荷額等（2021年）47.8兆円 全国１位

総人口（2020年）754万人 全国４位

県内総生産（名目・2022年）43.0兆円 全国３位

出所：総務省「国勢調査」、内閣府「県民経済計算」、経済産業省「経済構造実態調査」

三重県

半導体産業 製造品出荷額等（2021年）1.9兆円 全国１位

実質経済成長率（2012-2021平均）1.1% 全国6位

持ち家比率（2020年）72.4% 全国９位

※電子部品・デバイス・電子回路製造業の製造品出荷額等

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行は愛知県、三重県を中心に、国内１４５店舗を展開しており、海外には上海、バンコクの２か所に駐在員事務所を構えています。

営業エリアの中心である愛知県と三重県は、ご存じの通り日本一の製造業集積地であり、愛知県は、製造品出荷額が全国１位、総人口が全国４位、県内総生産が全国３位となっております。

また、三重県は、半導体産業の製造品出荷額が全国１位、実質経済成長率は全国６位、また、持ち家比率が高いことも特徴の１つです。

当行は、全国的にも恵まれたマーケットに基盤を置いている銀行であると感謝しております。

地域の主要イベント

百五銀行 FRONTIER BANKING

愛知県

＜2025年度＞
・世界最大級の観光イベント
「ツーリズムＥＸＰＯジャパン
２０２５愛知・中部北陸」の開催
・愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）
オープン
・国際芸術祭「あいち2025」の開催

＜2026年度＞
・第20回アジア競技大会・
第５回アジパラ競技大会の開催

＜2027年度以降＞
・第６０回アジア開発銀行年次総会
・中部国際空港　２本目の滑走路　供用開始
・名古屋駅のスーパーターミナル化

三重県

＜2025年度＞
・第４４回 全国豊かな海づくり大会
～美し国みえ大会～

＜2026年度＞
・三重県誕生１５０周年
・東海環状自動車道全線開通

＜2027年度以降＞
・「バスタ四日市」
近鉄四日市駅西側の再開発事業完成
・第６３回神宮式年遷宮

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

愛知県では、９月に、世界最大級の観光イベントである「ツーリズムＥＸＰＯジャパン」の開催が予定されているほか、中部国際空港の２本目滑走路の供用開始、名古屋駅のスーパーターミナル化などが、予定されています。

三重県では、２０２６年４月に三重県誕生１５０周年を迎えるほか、近鉄四日市駅再開発事業の完成や、既に今年から祭典がスタートしていますが、２０３３年に伊勢神宮の式年遷宮も控えており、約８年間にわたり、さまざまな祭典や行事が続きます。

業績概要

百五銀行 FRONTIER BANKING

2024年度決算サマリー（連結）

（単位：百万円）	24/3期	25/3期	前期比
業務粗利益	62,822	67,269	4,447
資金利益	64,280	66,620	2,340
役務取引等利益	15,218	14,467	▲751
その他業務利益	▲16,677	▲13,818	2,859
一般貸倒引当金繰入額	2,935	331	▲2,603
経費	42,849	41,354	▲1,495
業務純益	16,356	22,779	6,423
臨時損益	3,698	2,924	▲774
うち不良債権処理額	4,230	3,463	▲767
うち株式等関係損益	7,015	3,478	▲3,537
経常利益	20,054	25,704	5,649
特別損益	▲173	▲259	▲86
税引前当期純利益	19,881	25,444	5,563
親会社株主に帰属する当期純利益	14,281	18,042	3,761

経常利益、当期純利益ともに
前期比増益かつ過去最高益

経常利益
25,704百万円
（前期比＋5,649百万円）

当期純利益
18,042百万円
（前期比＋3,761百万円）

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

２０２４年度、つまり２０２５年３月期の連結決算につきましては、左側の表の赤い色の部分の通りとなっております。

連結　経常利益、連結　当期純利益ともに、前期比増益、かつ過去最高益となりました。

2026年３月期　決算予想（公表計数）

百五銀行 FRONTIER BANKING

決算予想（単体）

（単位：百万円）	25/3期	26/3期(予想)
業務粗利益	61,911	66,300
資金利益	67,274	65,400
役務取引等利益	10,477	8,400
その他業務利益	▲15,840	▲7,500
業務純益	21,497	23,700
経常利益	24,633	25,300
当期純利益	17,511	18,000

決算予想（連結）

（単位：百万円）	25/3期	26/3期(予想)
経常利益	25,704	26,400
親会社株主に帰属する当期純利益	18,042	18,500

	中間期	期末	年間
25/3期	9.00円	12.00円	21.00円
26/3期予想	12.00円	12.00円	24.00円

7

左の単体の決算予想の表をご覧ください。

資金利益と役務取引等利益は、減少しますが、その他業務利益の改善により、
業務粗利益は、前期から４３億円増加し、６６３億円となる予想です。
経常利益・当期純利益は、２５３億円、１８０億円と、最高益を記録した２０２５年３月期を上回る予定です。

次に、右の上の表が連結ベースの数字です。当期純利益は、最高益の１８５億円を予想しています。

１株あたりの配当は、２０２５年３月期実績で　中間期９円、期末１２円の年間２１円でした。２０２６年３月期の予想は、中間・期末とも１２円の年間２４円と増配を予定しています。

なお、２０２６年３月期第一四半期の決算につきまして、
連結決算は、前期に比べまして増収・減益の決算となりました。

減益となった要因は、東証の要請により進めております政策投資株式の売却が、
想定以上にスムーズに進んだため、その売却益を使って、マイナス金利時代に購入した比較的利回りの低い国債等を売却し、売却損を計上したことが要因です。

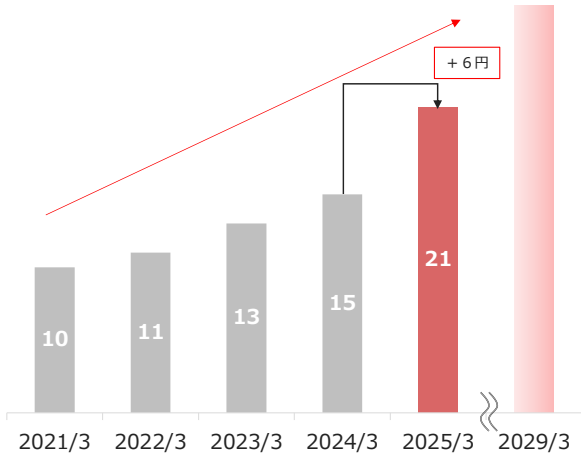
一旦は利益が下押しされましたが、利回りの低い国債が、売却・再投資で利回りの高い国債に入れ替わるため、今後の利益についてはプラスの影響が期待できます。

配当金

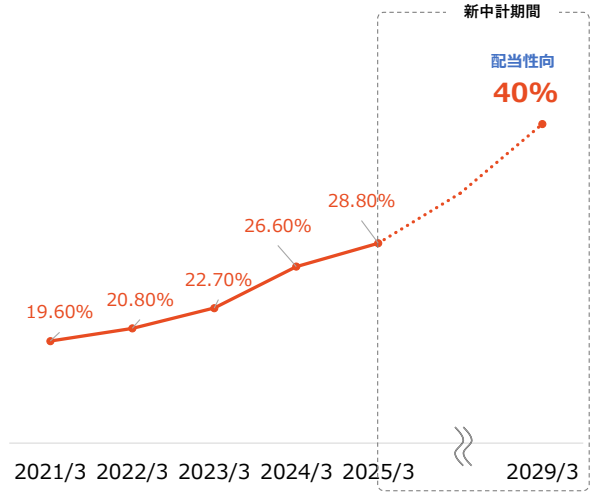
百五銀行 FRONTIER BANKING

● 株主還元は長期安定配当を基本としながらも配当性向40%をめざし、機動的な自己株式の取得も検討します。

■ １株あたり配当金推移（円）



■配当性向推移



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行は、盤石な経営基盤の確保のため、地域銀行として内部留保の充実に意を払ったうえで、長期・安定配当を基本としております。

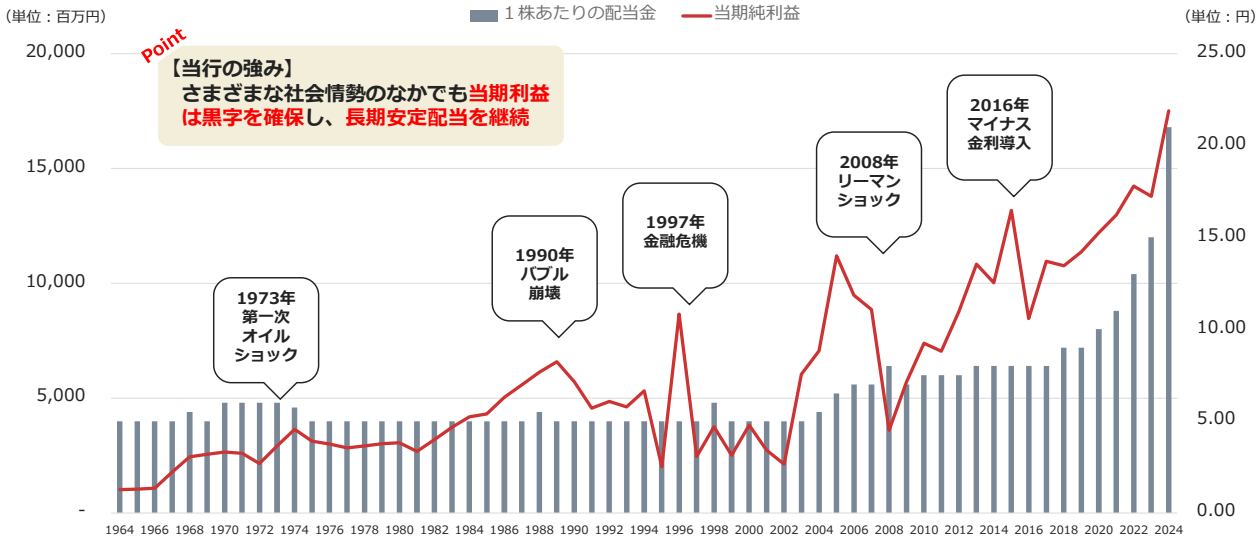
今年４月から、新たな中期経営計画が始まっておりますが、株主還元、特に配当性向について新たに方針を表明しました。
直近の２０２５年３月期配当性向は、２８．８％ですが、
中期経営計画期間中に、配当性向４０％をめざします。

ちなみに、２０２６年３月期は、連結純利益予想である１８５億円に対し、年間２４円配当が実現した場合、配当性向は３１．５％となる見込みです。

配当金

百五銀行 FRONTIER BANKING

■当期純利益および１株あたりの配当金推移



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

このグラフは、赤の折れ線が、過去６０年間の当行の当期純利益を表し、グレーの棒グラフが１株あたりの配当金を示しています。

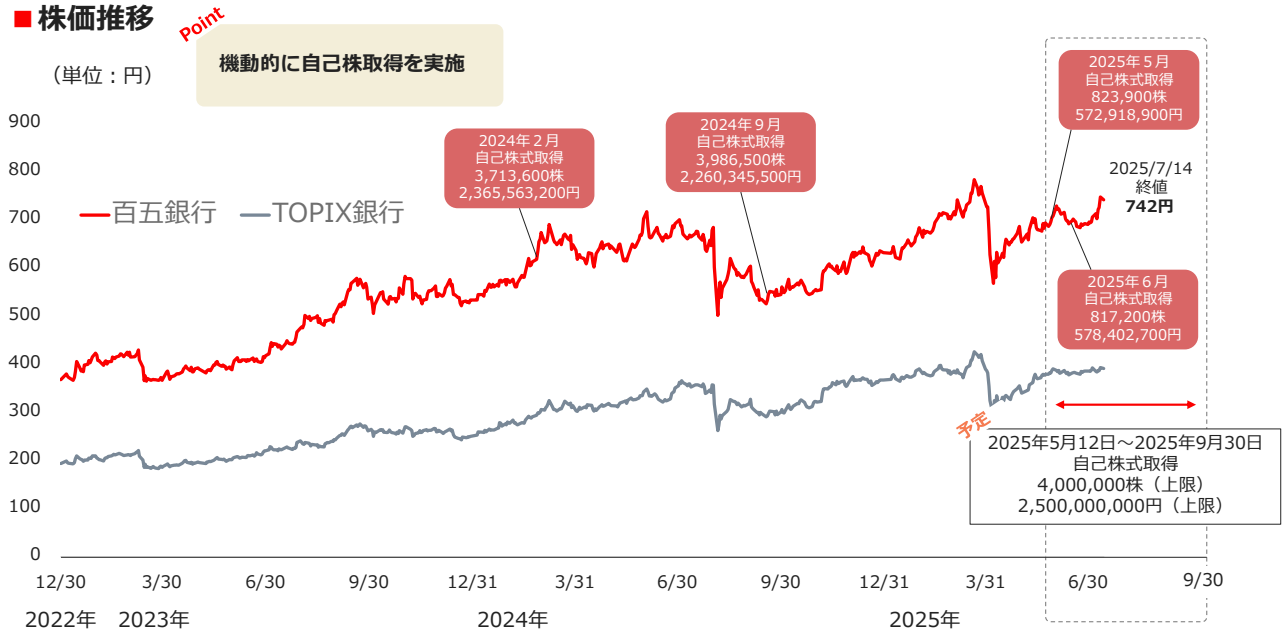
１９９７年の金融危機、２００８年のリーマン・ショックなど、過去に発生した経済危機の際には、多数の大手金融グループが、大幅な赤字決算に陥ったことは皆さまのご記憶にもあろうかと思います。

その中でも、当行は黒字決算と配当を続けて参りました。

しかも、１９７３年のオイルショックの後、そして１９９８年、２００８年の２回の記念配当の翌年以外は、減配しておりません。この安定的に利益を計上し、安定的に配当を続けることが、最大の使命であると考えています。

株価推移

百五銀行 FRONTIER BANKING



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

自己株式取得については、これまでも機動的に実施しており、
今日現在も、右下に斜めに「予定」と書かれていますが、
正に２０２５年５月から９月までの期間で、４００万株または
２５億円を上限として、自己株式取得を行っている最中であります。

既に５月に８２万株　５億７２百万円を買い付け、６月に８１万株、
５億７８百万円を買付け済みです。

残り２，３５８，９００株、１，３４８，６７８，４００円については、９月３０日までに買い付ける予定です。

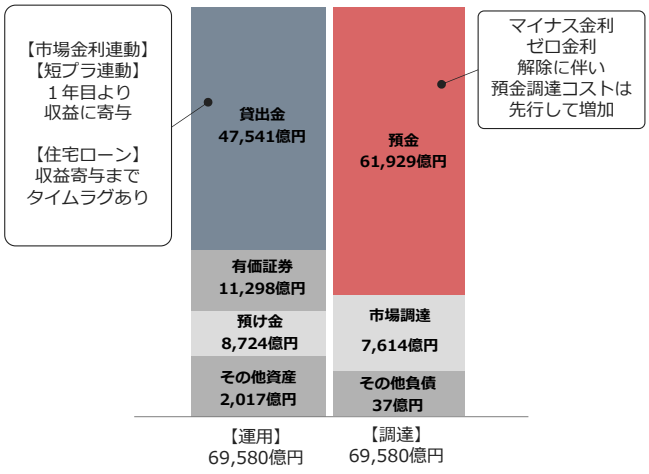
なお、株価につきましては、後ほどご説明させていただきます。

円金利上昇による影響

百五銀行 FRONTIER BANKING

バランスシート（銀行単体）

■円貨BS概略（2025年３月末基準）



円金利0.50%上昇による資金利益への影響（年間）

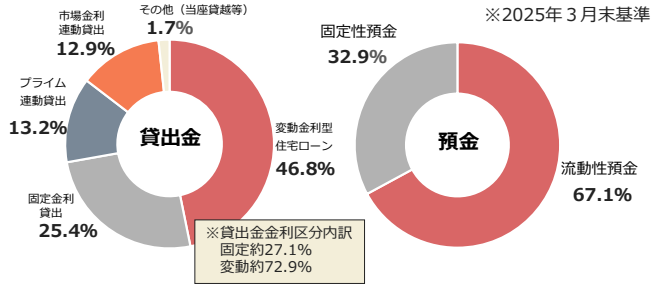
■影響額シミュレーション

年間影響額
３年目
＋101億円

<金利前提条件>
初年度即時上昇後、据え置き

貸出金の金利上昇や有価証券の利回り向上に伴い資金利益は増加する見込み

預貸金の構成



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved. 11

当行では、今期も含め中期経営計画の４年間、日本銀行による政策金利の引き上げはない、との前提で計画を策定しています。

とはいうものの、トランプ関税交渉も１５％で一旦決着し、インフレ警戒もある中、政策金利が、ただちに０．５％引きあがった場合の資金利益はどうなるのか、を検討したページになります。

資金利益とは、預金と貸出金や有価証券利息の差、つまり利ザヤによる利益のことです。利上げの直後には、預金金利の上昇が先行するものの、すぐに貸出金や有価証券の金利上昇が追いつく形となり、３年目には年間１０１億円程度の資金利益増加を見込んでおります。

貸出金の利息増加については、交渉がうまく行くのか？とご心配をいただくこともあります。

預貸金の構成とかいてあるところの、下の左側の円グラフをご覧ください。

当行の貸出金のうち、４６．８％が変動金利の住宅ローンであり、こちらは交渉の必要がなく、政策金利が上昇すると、最大半年は遅れることがありますが、確実に金利が上昇していきます。

預金・貸出金

百五銀行 FRONTIER BANKING

総預金残高
（2025年3月末時点）

6兆1,548億円
地方銀行６１行中
２１位※

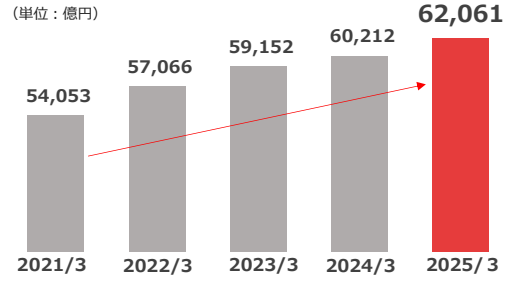
※各行決算短信資料より当行調べ

総貸出金残高
（2025年3月末時点）

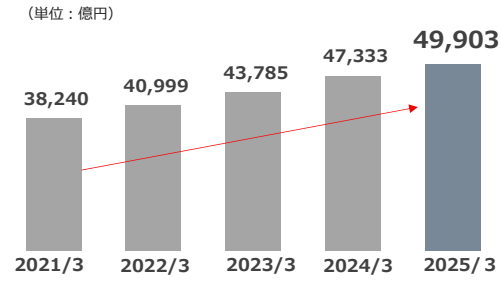
5兆781億円
地方銀行６１行中
１９位※

※各行決算短信資料より当行調べ

■総預金（平均残高）推移



■総貸出金（平均残高）推移



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

２０２５年３月末の　総預金残高は　６兆１，５４８億円、
総貸出金残高は５兆７８１億円となっており、
それぞれ地方銀行６１行中２１位、１９位の順位です。

下のグラフは、総預金と総貸出金の平均残高の推移を表にしましたもので、最近、預金の増加に苦労をされている金融機関が増えている、という報道がございますが、当行につきましては、預金、貸出金ともに順調に増加を続けています。

預金・貸出金

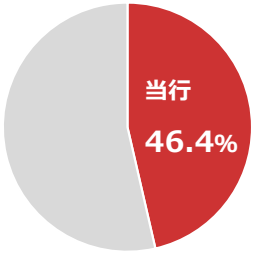
百五銀行 FRONTIER BANKING

三重県内の預金・貸出金シェア

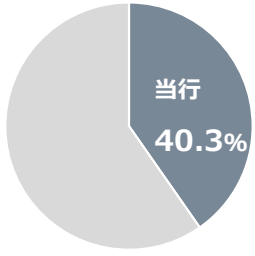
預金シェア・貸出金シェア
三重県内トップ

三重県内メインバンク調査
16年連続トップ

預金シェア



貸出金シェア



※農協、漁協、ゆうちょ銀行、当行新宮支店は含まない

2025年３月末時点

県内メインバンク社数
10,026社
（前年比＋79社）

県内メインバンクシェア
45.13%

県内業種別＊メインバンクシェア
全８業種１位

＊建設・製造・卸売・小売・運輸通信・サービス・不動産・その他
出所：帝国データバンク　三重県内企業「メインバンク」動向調査（2024年）

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

預金・貸出金を、本社所在地の三重県に限ってみた場合には、
どうか？というのがこのページです。

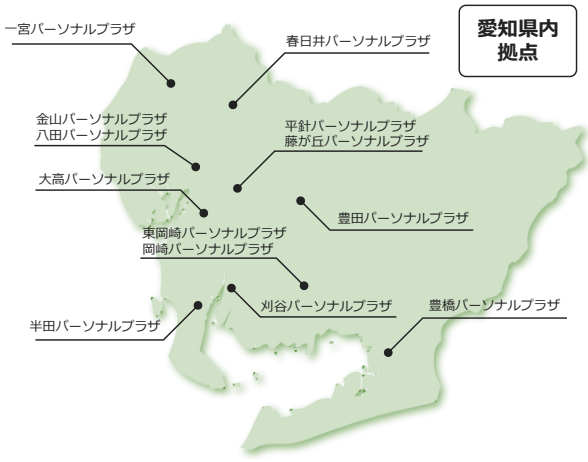
おかげさまで、預金・貸出金とも、三重県内ではトップシェアと
なっております。

また、帝国データバンクの調査によれば、三重県内のメインバンク
調査において、当行をメインとしている、とお答えいただいた企業の
数が、調査開始以来１６年連続でトップとなっております。

住宅ローン

百五銀行 FRONTIER BANKING

住宅ローン営業拠点 （2025年６月末時点）

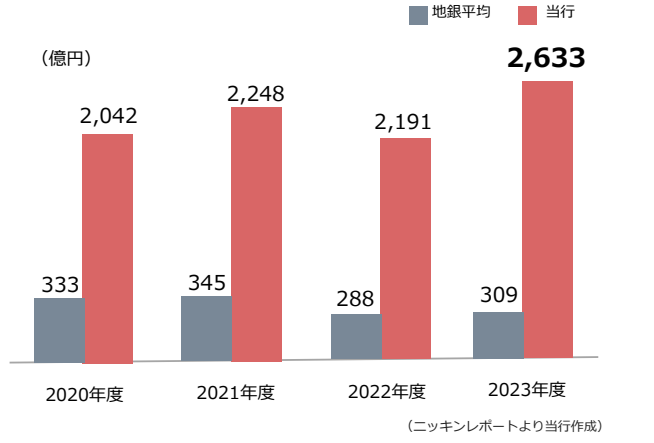


三重県内拠点	四日市パーソナルプラザ 鈴鹿パーソナルプラザ 津パーソナルプラザ 松阪パーソナルプラザ

住宅ローン増加額

住宅ローン増加額
地域銀行
６年連続全国１位※

※ニッキンレポートより



（ニッキンレポートより当行作成）

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行は、愛知県・三重県に、多くの住宅ローン専用営業拠点である「パーソナルプラザ」を展開しています。

このパーソナルプラザを活用した住宅ローン営業が、おかげ様でご評価をいただき、住宅ローンの残高増加額において、地域銀行のなかで６年連続全国１位となっております。

その結果が、先ほど申し上げました貸出金の４６.８％が変動金利の住宅ローン、という資産構成につながっています。

前中期経営計画の振り返り

百五銀行 FRONTIER BANKING

長期ビジョン

KAI－KAKU 150 2nd STAGE
「未来へのとびらⅡ」新長期ビジョン

グリーン＆コンサルバンクグループをめざして

＜百五銀行グループのめざす姿＞

●グリーン
・百五銀行グループは、地域のカーボンニュートラルへの公正な移行「Just Transition」を支援し、地域社会の持続可能な経済発展に貢献します。

●コンサルバンクグループ
・百五銀行グループは、課題解決型コンサルティングを実践し、お客さまと地域社会の未来を切り拓きます。
・百五銀行グループは、IT戦略を継続し、生産性の向上を図るとともにコンサルティングを通じて、お客さまと地域社会のIT化を支援します。

基本方針と重点戦略

5つの基本方針	11の重点戦略	
Ⅰ カーボンニュートラルへの取組みの強化	1	カーボンニュートラル戦略
Ⅱ ビジネスモデルの強化	2	貸出金収益・役務収益増強戦略
	3	有価証券戦略
	4	グループ会社戦略
Ⅲ 生産性の向上	5	チャネル戦略
	6	IT戦略
Ⅳ 経営基盤の強化	7	人材戦略
	8	ガバナンス戦略
	9	組織戦略
Ⅴ SDGs/ESGの浸透	10	ダイバーシティ戦略
	11	SDGs/ESG戦略

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

前中期経営計画の結果

百五銀行 FRONTIER BANKING

「未来へのとびらⅡ」（2022年４月～2025年３月）結果

	前中計「未来へのとびらⅡ」	2023年度 実績	2024年度 実績	2024年度（最終目標）
KGI	連結当期純利益	142億円	180億円 ○	150億円以上
KGI	連結純資産ROE	3.21%	3.87% ○	3.50%以上
KGI	コアOHR	60.89%	59.61% ○	67%未満
KGI	自己資本比率	12.22%	11.92% ○	11%以上
KPI	住宅ローン関連手数料	35億円	28億円 △	44億円
KPI	預り資産関連手数料	30億円	28億円 △	34億円
KPI	法人ソリューション手数料	29億円	29億円 ○	30億円
KPI	プロフェッショナル資格保有者数	390人	451人 ○	450人

※KGI…重要目標達成指標

※KPI…KGIを達成するための業績評価指標

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

まずは、２０２５年３月末をもって終了しました前　・中期経営計画の結果を振り返ります。

最終年度である２０２４年度、つまり２０２５年３月期のＫＧＩ４項目は、一番右の列のとおり、連結当期純利益１５０億円以上、
連結純資産ＲＯＥ３．５%以上、コアＯＨＲ６７%未満、自己資本比率１１%以上と設定しましたが、
その左の赤で囲った部分のとおり、４項目すべてで達成となりました。

次にＫＧＩを達成するためのＫＰＩですが、住宅ローン関連手数料はＫＧＩの利益目標が達成可能と判断したことから、あえて目標を引き下げました。

また、預り資産関連手数料は、仕組債の販売停止など、マーケット環境が大きく変化しました結果、未達成となりましたが、こちらもＫＧＩ利益目標の達成は十分可能と判断しました。

マテリアリティ(重要課題)

百五銀行 FRONTIER BANKING

新たな成長に向けてマテリアリティの見直しを実施しました。当行の企業理念とコーポレートステートメントをふまえ「わたしたちが人々を幸せにするために存在している」という当行の原点に立ち返り、当行が取り組むべき重要な課題を再定義しました。

テーマ	マテリアリティ	めざす姿
社会	①活力あふれる地域づくり	地域企業の経営課題解決や付加価値向上の支援を通じて、地場産業の育成・振興・活性化をはかり、活力あふれる豊かな地域づくりに貢献します。
	②安心と豊かな暮らしへの貢献	まちづくりを支える事業への支援や、お客さまのライフステージに応じた金融サービスの提供、金融経済教育の実施により、豊かで安心できる暮らしの実現をサポートします。
	③一人ひとりが輝ける社会づくり	多様な人材が能力を向上させ、心身ともにいきいきと働ける職場をつくることで、新しい価値を生み出し、地域社会に貢献します。地域とともに「ひと」を大切にする社会をつくります。
環境	④自然との共生	自然環境に配慮した事業活動を行うとともに、金融ソリューションや社会貢献活動を通じて、脱炭素社会・循環型経済への移行に取り組み、地域の豊富な自然と恵みを未来につなぐことをめざします。
ガバナンス	⑤責任ある経営	高い倫理観のもと責任ある経営を行うことで、ステークホルダーのみなさまに選ばれる金融グループをめざします。環境の変化に柔軟に対応し、変革しつづけることで、地域をささえる役割を果たします。

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

新たな成長へ向け、当行がお客さま・株主さま・従業員などのステークホルダーの皆さまと共に、取り組むべきマテリアリティ、すなわち重要課題の見直しを行いました。

マテリアリテイは①活力あふれる地域づくり から ⑤責任ある経営までの５項目を設定しております。

新中期経営計画の概要

百五銀行 FRONTIER BANKING

当行のコアビジネスである「銀行業」はより強固かつ効率的な事業態勢を構築していきます。加えて、新たに「地域を創造する新事業」を創出・育成することで、事業の新陳代謝を促し、絶えず事業ポートフォリオを刷新することをめざします。その結果、「経済価値」「社会価値」の双方を創出し、企業価値の向上をめざします。

中期経営計画

未来への挑戦

中期経営計画 KAI-KAKU 150 FINAL STAGE

中期経営計画でめざす姿

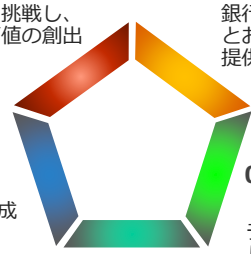
本中期経営計画を通じて「頼りにされる銀行」となることをめざす。
そのために、行員は「お客さまに信頼され、頼られる人」になる。

銀行がめざす姿	行員がめざす姿
頼りにされる銀行	お客さまが夢や未来を描くとき、一番に顔が浮かぶ行員

中期経営計画　基本戦略

01 社会価値の創造
地域課題の解決に挑戦し、経済価値と社会価値の創出をめざす

02 成長への挑戦
銀行業務の徹底的な効率化とお客さまへの更なる価値提供をめざす



03 人材戦略
主体的なキャリア形成を通じて「挑戦するプロフェッショナル集団」をめざす

04 デジタルトランスフォーメーション
デジタル/データを活用し、業務と思考の変革をめざす

05 戦略基盤の強化
ガバナンスの強化、サステナビリティと経営の統合をめざす

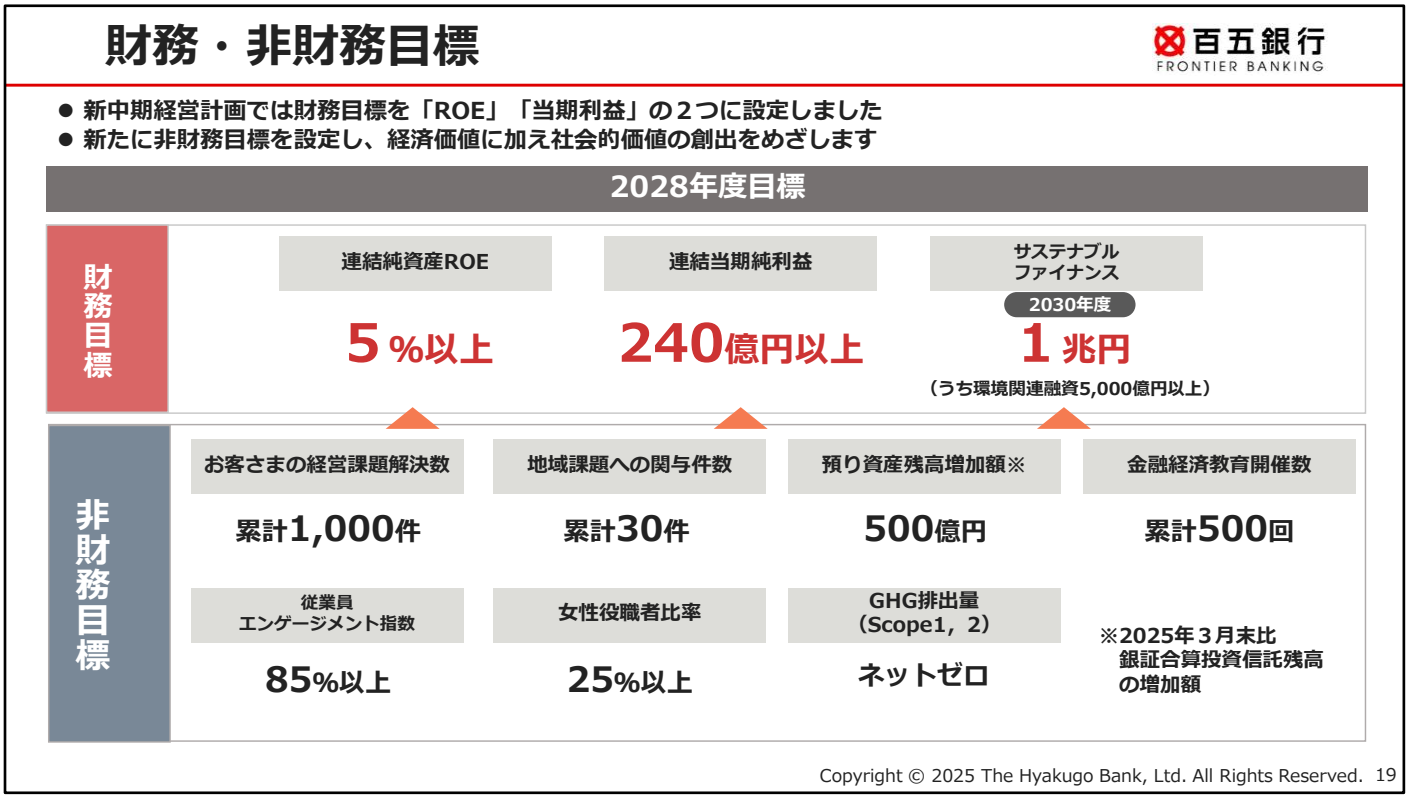
Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

新・中期経営計画は、２０２８年１１月の当行創立１５０周年をまたぐ４年間の計画となっております。

テーマは「未来への挑戦」としました。

１５０周年のその先の更なる発展を見据え、チャレンジングな施策を展開する、という意気込みを表現しております。

基本戦略は右側５色にわけて表現しておりますが、社会価値の創造、成長への挑戦、人材戦略、デジタルトランスフォーメーション、戦略基盤の強化 の５項目です。



新中期経営計画では、最終年度である２０２８年度の財務目標を「連結純資産ＲＯＥ５%以上」、「連結当期純利益　２４０億円以上」「サスティナブルファイナンス累積実行額１兆円以上」と設定しました。
このなかでサステナブルファイナンス目標のみ、達成時期を中計の最終年度ではなく、２０３０年度としております。

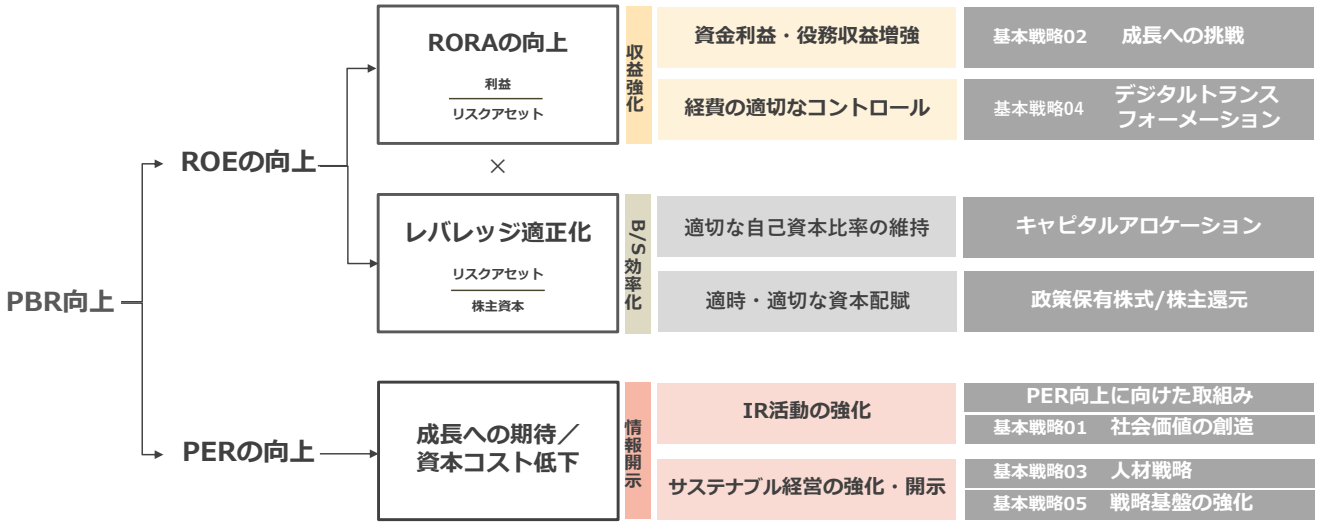
また、下段には決算の数字には直接あらわれない非財務目標を記載しております。

こちらの各目標を達成することが、マテリアリティ解決につながるものと考えています。

PBR向上へ向けた取組み

百五銀行 FRONTIER BANKING

新中期経営計画「未来への挑戦」で各種施策に取り組むことを通じて、企業価値の向上をめざします。



Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

ＰＢＲは、当行の純資産に対し、株価が何倍の評価を受けているか、を示していますが、２０２５年３月末の実績は０.４２倍と、東証の示す１倍の水準を下回っています。

これを改善するために、稼ぐ力をしめすＲＯＥを向上させること、株主の皆さまや株式市場全体の期待値をしめすＰＥＲを向上させること、に分解して戦略を策定しました。

ＲＯＥの向上は、更にＲＯＲＡの向上 と レバレッジの適正化に分解できます。

ＲＯＲＡは、資金利益・役務収益の増強、経費の適切なコントロールで向上させます。

レバレッジは、適切な自己資本比率の維持と　適時適切な資本配布で実現します。

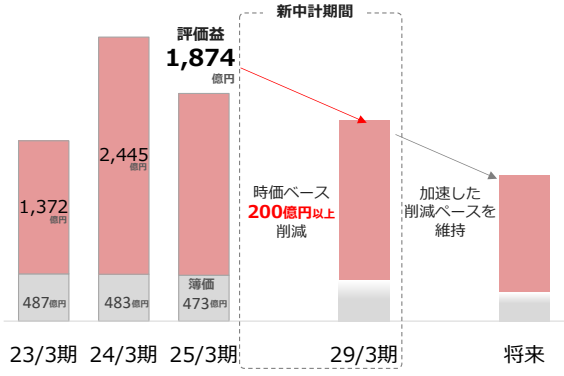
ＰＥＲは、ＩＲ活動の強化や、サスティナブル経営の強化・開示で向上させます。

政策保有株式

百五銀行 FRONTIER BANKING

● **政策保有株式は計画的に削減し、発生する売却益は戦略的投資に充当することで、企業価値の向上をめざします。**

政策保有株式（上場株式）



DX・人的資本へ戦略的投資

目標 **政策保有株式は時価ベースで200億円以上の削減を計画的に行う**

管理	銀行取引等を継続している場合は売却合意先であっても政策保有株式として管理
保有意義	地域経済の発展や当行の企業価値向上に資するかを判断
売却	売却にあたっては運用効率の観点から優先順位をつける
売却益	売却益は企業価値向上のための戦略的投資に活用する

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

東京証券取引所は、株式市場改革の一環として、政策保有株式の縮減を進めています。

当行においても、保有意義を半年ごとに見直し、意義のない政策保有株式については売却・縮減を進めてきました。

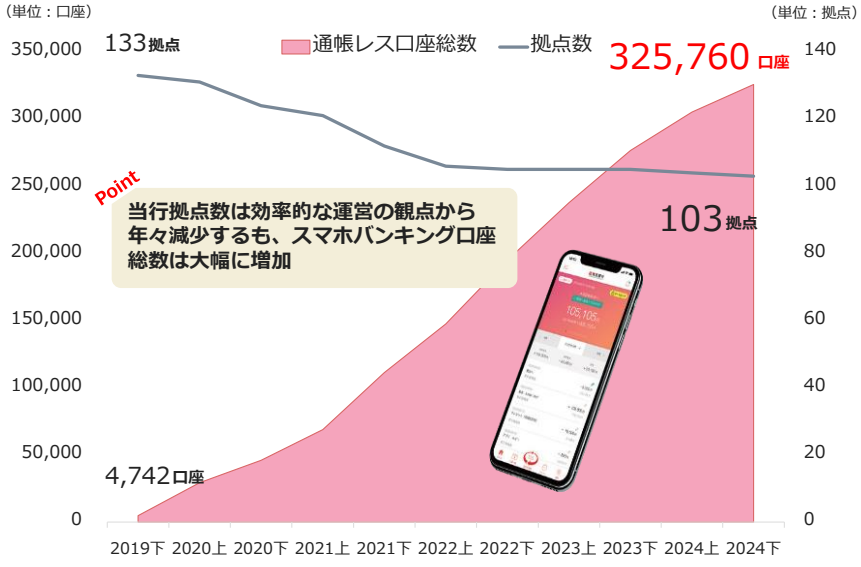
中期経営計画では、２０２８年度末までに　時価ベース２００億円以上の縮減を進める方針を発表しております。

その際、売却益が発生しますが、ＤＸ投資や、人的資本投資などに使用し、企業価値向上を図ります。

スマホバンキング

百五銀行 FRONTIER BANKING

スマホバンキング口座総数推移と拠点数推移



SDG s
紙資源の削減
×
デジタル化
利便性の向上

Bank 105

- スマホバンキングの口座総数は
  ３０万口座を突破
- 拠点数は減少するも
  来店不要のサービスを拡充
  することで、引き続きご満足
  いただけるサービスを提供

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行では、紙の通帳の削減と、デジタル化による利便性の向上の両立を目的に、BIPROGY社と共同開発したアプリ　スマホバンキングを２０１９年にスタートしました。

左のグラフは、スマホバンキングアプリの利用者数を示す通帳レス口座の総数と当行拠点数、つまり店舗の数の推移を示しています。
ごらんのとおり、拠点数を集約する一方で、スマホバンキングアプリの利用者は、３２万口座を達成しました。
なお、スマホバンキングは、他の地方銀行や信用金庫に販売しており、現在７つの金融機関と契約し、そのうち５つの金融機関でも稼働しています。

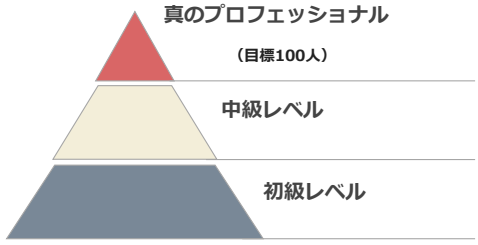
プロフェッショナル人材の育成

百五銀行 FRONTIER BANKING

めざす人材・組織像

従業員全員が自律的なキャリア形成に取り組むことを通じて、
「真のプロフェッショナル」となることをめざす

■人的資本経営の高度化



継続したプロフェッショナルの育成

■プロフェッショナル人材※1の育成

自律的なキャリア形成に挑戦する体制を整え、知識・実践力を兼ね備えた「プロフェッショナル人材」を１００名創出する。

※1　プロフェッショナル資格試験合格者のうち、高いレベルで知識・能力が発揮されている人材

■プロフェッショナル人材育成の進捗　（2025年３月末時点）

（ご参考）2025年３月末時点　当行従業員数 2,207人

プロフェッショナル資格試験累計合格者数

451人

ITパスポート試験累計合格者数

705人

プロフェッショナル資格試験
FP１級、CFP、中小企業診断士、税理士、社会保険労務士、証券アナリスト、CIA（公認内部監査人）、１級建築士、情報処理安全確保支援士、プロジェクトマネージャーの試験

当行では、従業員全員が自律的なキャリア形成に取り組むことで、「真のプロフェッショナル」となることをめざしています。

前中期経営計画では、コンサルティングに必要な知識を有した人材を増やすため、ＦＰ１級などの難関資格試験を社内でプロフェッショナル資格試験と位置づけ、合格者数増加をめざしてきました。

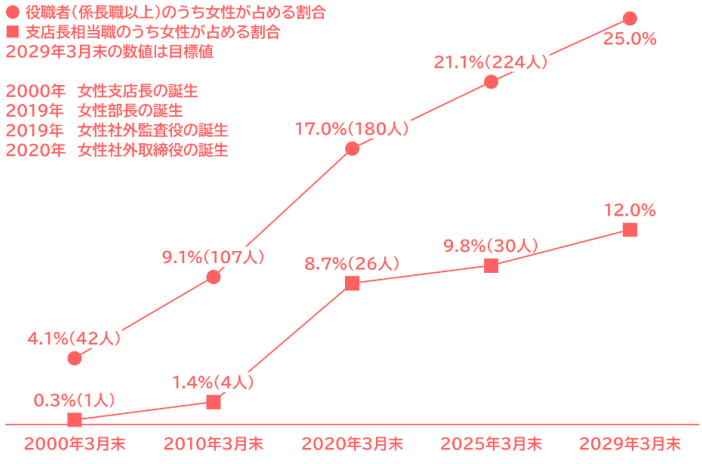
その結果、２０２５年３月末時点で、プロフェッショナル資格試験の累計合格者数は４５１人となりました。

こうした資格試験の合格により習得した知識に加え、実践力を兼ね備えた「プロフェッショナル人材」を１００名創出することで、お客さまへの提案力強化を図っていきます。

女性活躍

百五銀行 FRONTIER BANKING

女性管理職登用の数値と目標値



今後はさらに経営の意思決定の場に女性を登用

■女性キャリアアップ研修

■「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄に新たに採用

◆MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
時価総額上位500銘柄（MSCIジャパンIMIトップ500指数）のうち、MSCIが新たに開発した性別多様性スコアに基づき、各業種から性別多様性に優れた企業を選別して構成

※株式会社百五銀行のMSCI指数への組入れ、および本資料におけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社百五銀行への後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

当行では、女性が活躍し、自律的にキャリア形成ができるよう、育児や家事との両立支援制度を拡充しています。

その結果、女性行員の管理職登用は順調に進んでおりますが、さらなる女性活躍推進に取り組んでまいります。

また、右下をご覧ください。

こうした取組みが評価され、株価指数を算出・提供するＭＳＣＩにより、「ＭＳＣＩ日本株女性活躍指数」の構成銘柄に新たに採用されました。

この指数に連動するＥＴＦが、アセットマネジメント会社により組成され、取引がなされています。

地域の循環型経済実現へ向けた取組み

百五銀行 FRONTIER BANKING

東海農政局と「輸出促進に向けた連携協定」を締結

目的 人口減少や高齢化といった地域課題に対し、東海地域の農林水産物・食品の輸出拡大に貢献することで新たな市場を開拓する

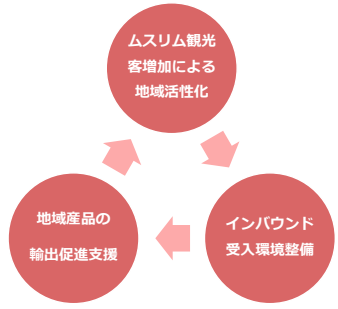
今後 地域資源を活用した「輸出支援」と同時に「インバウンド誘客」も効果的に連動させることで海外マーケットに魅力ある地域コンテンツを発信

インバウンド戦略

三重県をハラル先進県に

インバウンド戦略の中でも成長が期待されるムスリム市場に着目し、「ハラル対応」を軸とした受入環境整備の支援や情報発信を強化

循環型経済の実現



東海農政局をはじめとした行政機関、地域事業者と協業し、ムスリムの方々が安心して三重県に来訪できる体制を構築

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

本年３月７日、東海地域の農林水産物・食品の輸出拡大に貢献することを目的として、農林水産省 東海農政局と連携協定を締結しました。

また、同日に、協定締結記念イベントとしてハラルビジネスや、ムスリム、つまりイスラム教徒の皆さんのインバウンド推進イベントとして「インドネシア・ハラル・ラウンドテーブル ミーティング」を開催しました。

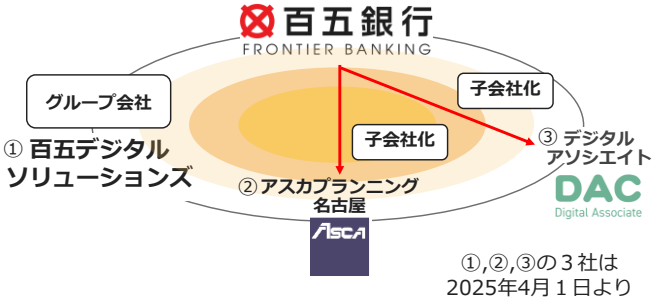
今後も、地域産品の輸出支援とインバウンド推進の両輪で、海外マーケットに対し、魅力ある「地域コンテンツ」を発信していきます。

グループ会社

百五銀行 FRONTIER BANKING

グループ一体でのソリューション提供

新たな態勢で**地域DXの推進**を強化



①,②,③の３社は
2025年4月１日より
他業銀行業高度化等会社※1

システム受託開発 | システム人材派遣 | システム保守運用サービス

※1　従来の銀行法での規制にとらわれない「地域の活性化等につながる事業」を営むことについて、事前に金融庁の認可を取得した会社

障がい者雇用の促進

百五ハートフルサービス

特例子会社※2として
地域金融機関全国初
「一定の銀行業高度化等会社※3」
へ転換する認可取得

銀行の業務範囲規制の枠組みを超えた
新たな業務に挑戦

地域の障がい者雇用促進

Topics
井村屋株式会社との業務請負契約 ▶ お菓子の梱包業務など

※2　障がい者の雇用促進と安定を目的として設立される子会社
※3　銀行法第16条の２ 第16条の2 13項に規定された銀行の子会社
銀行業の高度化や利用者の利便性向上に資する業務を行う子会社

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

まずは、「地域ＤＸの推進」についてです。

本年４月１日に、システム関連企業２社をＭ＆Ａにて子会社化しました。
これにより、２社が持つ技術・知見・豊富な開発人材と、４月から社名を変更しました
百五デジタルソリューション、そして当行のＤＸ推進チーム　の４つが連携し、今まで以上に、幅広いサービスを展開可能となりました。

なお、百五デジタルソリューションズ・アスカプランニング名古屋・デジタルアソシエイトの３社は、他業銀行業高度化等会社の認可を金融庁より取得しました。
これにより、銀行の「業務範囲規制」の枠組みを超える　さまざまな事業を行えるようになりました。

この拡大したシステム関連の人的資源を活かし、百五銀行グループでは、地域ＤＸを推進し、生産性向上・活性化に貢献してまいります。

右側の障がい者雇用促進への取組みですが、グループ会社の百五ハートフルサービスは、地域金融機関の特例子会社として全国初となる「一定の銀行業高度化等会社」へ転換する認可を取得しました。

なお、特例子会社とは、障がい者の雇用促進と安定を目的として設立される子会社のことで、百五ハートフルサービスは２０１６年より特例子会社の認可を受けております。

「一定の銀行業高度化等会社」の認可により、銀行の業務範囲規制の枠組みを超える事業が可能になりました。具体的には、あずきバーで有名な井村屋株式会社さまより、お菓子の梱包業務などを請け負っております。

株主優待制度

百五銀行 FRONTIER BANKING

当行では日頃のご愛顧に感謝を込めて、株主さまのご優待制度を導入しています。

三重県ゆかりの名産品を掲載した
「株主さまご優待カタログギフト」のなかから
保有株式数に応じてお好みの一品を
お選びいただけます

対象となる株主さま

毎年３月31日現在の当行株主名簿に記載された1,000株以上をお持ちのお客さま

保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	3,000円相当
5,000株以上	5,000円相当

Copyright © 2025 The Hyakugo Bank, Ltd. All Rights Reserved.

当行では、対象となる株主さまに、三重県ゆかりの名産品を掲載したカタログギフトをお届けしております。

お持ちの株数に応じてカタログの内容も変更しており、株主の皆さまからも毎年楽しみにしている、とのお声を頂戴しております。

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料の将来の業績に関わる記述については、その内容を保証するものではなく、経営環境の変化等による不確実性を有しておりますのでご留意ください。

【本件に関するお問い合わせ先】
百五銀行 経営企画部
広報IR課
ir@hyakugo.co.jp
https://www.hyakugo.co.jp/

当行グループでは、今後も、地域社会やお客さま、株主の皆さま、従業員などあらゆるステークホルダーの皆さまのご発展のために、全役職員が一丸となって　努力してまいる所存ですので、引き続き、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申しあげます。